

全日本なぎなた連盟副理事長に

私の渡仏中、沖縄では一つの「事件」が起こっていました。

沖縄国体で素晴らしい成績を収めたのを機に、私はなぎなた指導の第一線から退くことを考えていました。会社経営と沖縄なぎなた連盟会長の役割を果たすことは、余りにも負担が大きかったからです。

そうした気配を察知されたのか、全日本なぎなた連盟の徳永千代子（せいくながちよこ）先生をはじめとした役員の方々が留守宅の夫を訪ねて、私の全日本なぎなた連盟理事への就任を要請されていたのです。徳永先生は連盟を代表する指導者であり、日本のなぎなたを育て、沖縄のなぎなたを育てていただいた大恩人でした。

「本人がよければいいですよ」

それが夫の答えだったということです。大恩人からの強い要請にさすがにお断りできなかつたようですが、これが暗に了解したと伝わりました。

夫が了解したということの後で退くこともできず、私は沖縄県なぎなた連盟の会長を続けることになりました。そして、この年の全日本なぎなた連盟の理事会で理事に選出され、副理事

長に就任することになりました。そして現在まで、全日本なぎなた連盟の活動に関わることになつたのです。

このころの全日本なぎなた連盟の主要役員は以下のとおりでした（敬称略）。

理事長…小西静子

副理事長…鶴岡徳子、長濱文子

理事…徳永千代子、吉田定子、河盛敬子ほか

こうしたなかで、鶴岡先生はご存命ながら現在には役職からは離れていらつしゃいますし、他の先生方は既に物故者となられています。残された私は、地元と全日本なぎなた連盟の活動を一層充実させ、また、世界への普及活動を大きく展開させて、なぎなたの道を一層極めて発展させるために懸命に努力せねばと、自分自身を奮い立たせている毎日です。

そして、なぎなたを通じて、長年なぎなたに真剣に取り組んでこられた先輩諸姉と同志に出会えたことと、ともに苦勞を押し努力してきたことを誇りとするとともに、感謝の念でいっぱいになります。

1994年（平成6）1月15日、私は日本武道協議会より武道功勞章をいただき、日本武道館正面の入口に飾られる銘板に名前を刻んでいただけることになりました。

浦島太郎の教訓

「木箱ふた・手出し・ていさーじ」

これは、沖縄のなぎなたの選手たちに、常に平常心を持って試合に臨んでもらうために考え出した言葉です。「ていさーじ」とは沖縄の言葉で手ぬぐいを意味します。演技競技審判規定の11の項目を、浦島太郎が竜宮城の乙姫様からもらった「木箱」の玉手箱の「ふた」を開けておじいさんになってしまったというおとぎ話になぞらえてフレーズにしました。

「ぎ・ば・こ・ふ・た・て・だ・し・て・ぎ・ち」

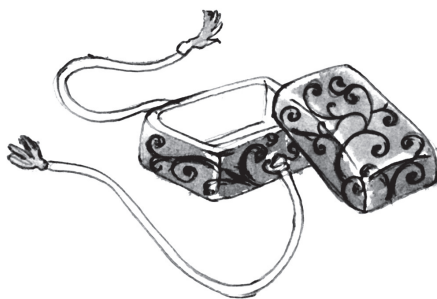
き 気迫（やる気）

ば 発声（元気）

こ 呼吸（調和）

ふ 服装（礼儀）

た 態度（作法）



絵…渡久地真理子現沖縄なぎなた連盟強化部長

て 手の位置（はじめ）

だ 打突（判断力）

し 姿勢（基本姿勢）

て 手の内（功微性）

ざ 残心（反省）

ち 着眼（集中力）

会社経営において多くの人を前にして話をする機会が多くありますが、あがり症の私は、伝えねばならないことの最初の言葉を覚えておいて、予定したことをすべて話すようにしていました。そうした経験から、「木箱ふた・手出し・ていさーじ」を考え出したのです。

なぎなたでは、精神的状態が演技や試合に大きく影響します。選手たちが臆するところなく平常心で臨むために、審判規定をあたかもおとぎ話を聞くように、安易で楽しいこととして理解できるようにしたのです。選手たちはおとぎ話を思い出しながら、審判規定をしっかりと心にとめるようになりました。

この覚え方を、はじめて出席した全日本なぎなた連盟の理事会でご紹介したところ、徳永千

代子先生は、長い間なぎなたの指導をやってきたけれど、こうした教え方は今まで知りませんでしたと、驚かれると同時に大変ほめてくださいました。私はなぎなたの国際化の第一歩は、世界中の多様性を理解することにあると考えていましたので、指導方法についても沖縄のやり方を知っていたらこうと、全日本なぎなた連盟の理事のみなさん方に積極的にご紹介したのです。

沖縄と国際化

なぎなたの国際化には、沖縄県なぎなた連盟が大きく参画することになりますが、これには沖縄の地理的・歴史的国際性が大きく影響していると思います。

現在、沖縄県を玄関口としたアジアへのゲート構想が検討されていますが、本土の主要都市と諸外国の主要都市への那覇からの距離（空路）を比較すると次のようになります（那覇空港内表示より）。

東京・1687 km、大阪（伊丹）・1304 km、福岡・1008 kmに対して、台北・655 km、上海・792 kmと、台北や上海に行く方がはるかに近いのです。因みにソウルへは1258 kmと、ほぼ大阪へ行くのと同じ距離になります。